

# 教科名（ネットワーク活用）

履修単位	4単位	学 年	3年
学科コース	商業科（情報処理コース）	区 分	必修 ・ <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">選択</span>
使用教科書	ネットワーク活用（東京法令出版）		
副教材等	全商情報処理検定 模擬試験問題集 1級 「ホームページ作成検定試験」や「ITパスポート試験」に関する対策書籍等		

## 1. 科目を通じた学習内容と学習目標

<p>(1) ビジネスにおけるインターネットの活用について実務に即して体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。</p> <p>(2) ビジネスにおいてインターネットを活用することに関する課題を発見し、ビジネスに携わる者として科学的な根拠に基づいて創造的に解決する力を養う。</p> <p>(3) 企業活動を改善する力の向上を目指して自ら学び、ビジネスにおけるインターネットの活用に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。</p>
--

## 2. 授業を受けるにあたってのアドバイス

<p>ビジネス情報分野における最終段階にあたるとも言える学習となります。1年生から学んできたことを活かして取り組んでいきましょう。授業では、what?ではなくHowを大切に、深く考え学ぶ姿勢をもってほしいです。実習も豊富にありますので、実際に経験しながら、それを実社会で活かしていけるように、自ら考え、向上心をもって取り組んでいきましょう。</p>
--

## 3. 科目を通じた評価の観点と評価方法

観点	知識・技能（技術）	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
観 点 の 趣 旨	ビジネスにおけるインターネットの活用について実務に即して体系的・系統的に理解しているとともに、関連する技術を身に付けている。	ビジネスにおいてインターネットを活用することに関する課題を発見し、ビジネスに携わる者として科学的な根拠に基づいて創造的に解決する力を身に付けている。	企業活動を改善する力の向上を目指して自ら学び、ビジネスにおけるインターネットの活用に主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。
評 価 方 法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 定期考査(单元テスト)</li> <li>・ 練習問題集</li> <li>・ ワークシート</li> <li>・ 実習データ等</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 定期考査(单元テスト)</li> <li>・ レポート(発表)</li> <li>・ ワークシート</li> <li>・ 練習問題集</li> <li>・ 実習データ等</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 授業の参加状況（発表）</li> <li>・ 授業態度（取組状況）</li> <li>・ レポート, 発表, 課題制作</li> </ul>

上に示す観点に基づいて、学習のまとまり（単元）ごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

#### 4. 年間を通じた学習計画

(より詳細な「学習内容・ねらい」・「評価の観点・評価方法」等については、各単元の最初の授業等で説明します。)

知識・技能＝【知技】 思考・判断・表現＝【思判表】 主体的に学習に取り組む態度＝【態度】

学期	単元の学習内容	単元の学習目標（ねらい）	単元の評価規準	主な評価の観点			備考
				知技	思判表	態度	
	第1章「ビジネスの変化」						
	第1節 ビジネスの変化 1 情報技術の進歩とビジネスの形態の変化 2 ネットワークによるビジネスの変化 3 ネットワークをビジネスに活用することの重要性	・情報技術の進歩によってビジネスがどのように変化していったのかを学習する。 ・ネットワークをビジネスに活用することの重要性について学習する。	・人々の生活や企業活動を取り巻く情報技術にはどのようなものがあるのかを理解している。 ・情報技術の進歩に伴ってビジネスがどのように変わっていったのかを理解している。	○			
			・情報技術を活用してどのようにビジネスを行うことができるのか、考えようとしている。 ・インターネットをビジネスに活用することでどのような利点があるのか、考えようとしている。		○		
			・情報技術や通信技術を活用してビジネスを行うことについて学習することに、主体的かつ協働的に取り組んでいる。			○	
	第2節 個人情報と知的財産の保護 1 個人情報の保護 2 知的財産の保護	・ネットワークを活用したビジネスを行う上では、個人情報や知的財産の保護に配慮しなければならないことについて学習する。	・個人情報とは何か、理解している。 ・個人情報取扱事業者が遵守しなければならない決まりについて、理解している。 ・知的財産とは何か、理解している。また、著作権、産業財産権などの各権利について、概要を理解している。	○			
			・個人情報に関する具体的な事例について検討し、個人情報活用の効用と個人情報保護のバランスを考えようとしている。 ・知的財産に関する具体的な事例について検討し、知的財産活用の効用と知的財産の保護のバランスを考えようとしている。		○		
			・個人情報と知的財産を保護しつつビジネスを行うことについて学習することに、主体的かつ協働的に取り組んでいる。			○	
	第3節 関係法規とガイドライン 1 ネットワーク活用におけるルール必要性 2 インターネットを活用したビジネスに関する法規 3 関連団体のガイドライン 4 関係法規・ガイドラインの遵守・活用	・ネットワークを活用したビジネスを行うことに関連した法規やガイドラインの概要を学習する。 ・これらの法規やガイドラインを遵守することの重要性について学習する。	・特定商取引法、電子消費者契約法、景品表示法、刑法、不正アクセス禁止法などの、ネットワーク活用に関連する法規の概要を理解している。 ・ネットワーク活用に関連する団体のガイドラインにはどのようなものがあるのか、理解している。	○			
			・関連法規やガイドラインの遵守に関する具体的な事例について検討し、これらを遵守・活用してビジネスを行っていくための方法について考えようとしている。		○		



<p>第3節 情報セキュリティの確保</p> <p>1 情報セキュリティの概要</p> <p>2 情報セキュリティの確保</p> <p>3 企業における情報セキュリティマネジメント</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・インターネットを活用してビジネスを行うためにはセキュリティの確保が重要であることを学習する。</li> <li>・セキュリティの概要を学習する。</li> <li>・企業としてセキュリティを確保するためのセキュリティマネジメントについて学習する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報セキュリティとは何か、機密性・可用性・完全性に関連付けて理解している。</li> <li>・情報セキュリティにおけるリスクを構成するものについて理解している。</li> <li>・暗号化について理解している。また、情報の秘匿化だけではなく、改ざんやなりすましのチェックに暗号化技術を応用できることについて理解している。</li> <li>・認証について理解している。</li> <li>・ファイアウォールなどのアクセス制御技術について理解している。</li> <li>・無線LANにおいてセキュリティを確保するための方法を理解している。</li> <li>・企業において情報セキュリティを実現するためのセキュリティマネジメントについて理解している。</li> <li>・情報のライフサイクルの各段階におけるセキュリティ実現方法について理解している。</li> </ul>	○			
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・どのようにすれば、情報の機密性・可用性・完全性を確保することができるのか、情報セキュリティに関する各技術などを踏まえて考えようとしている。</li> <li>・情報セキュリティに関する具体的な事例を踏まえて、情報セキュリティを確保するための方法を考えようとしている。</li> </ul>	○			
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報セキュリティを確保して、安全にネットワーク活用をするための学習に、主体的かつ協働的に取り組んでいる。</li> </ul>		○		
<p>第3章 インターネットで情報を表現する手段</p>						
<p>第1節 図形と静止画</p> <p>1 ネットワーク活用と画像</p> <p>2 コンピュータで表現する画像の基礎知識</p> <p>3 画像素材の入手</p> <p>4 画像のアップロードとダウンロード</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・インターネットを通じた企業情報や商品情報などの発信のために活用する図形・静止画について、その概要を学習する。</li> <li>・画像の取得・作成・編集に関する知識や技術を身に付ける。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ネットワーク活用における図形・静止画の利用の重要性について理解している。</li> <li>・ラスタ形式とベクタ形式の違いや各形式の用途について理解している。</li> <li>・画像フォーマットの違いや各フォーマットの用途について理解している。</li> <li>・画素数や解像度について理解している。</li> <li>・コンピュータにおける画像の色の表現方法について理解している。</li> <li>・画像のデータ量の計算方法について理解している。</li> <li>・画像を入手する方法や、画像を発信・受信する方法について理解している。</li> </ul>	○			
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・どのように画像を取得・作成・編集すれば、ネットワークを活用したビジネスなどにおいて効果的に活用することができるのかを考えようとしている。</li> </ul>	○			
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・画像の取得・作成・編集に関する学習に主体的かつ協働的に取り組んでいる。</li> </ul>		○		

<p>第2節 動画の活用</p> <p>1 ネットワーク活用と動画</p> <p>2 コンピュータで表現する音声の基礎知識</p> <p>3 コンピュータで表現する映像の基礎知識</p> <p>4 コンピュータで表現する動画の基礎知識</p>	<p>・インターネットを通じた企業情報や商品情報などの発信のために活用する動画について、その概要を学習する。</p> <p>・動画の取得・作成・編集に関する知識や技術を身に付ける。</p>	<p>・ネットワーク活用における動画の利用の重要性について理解している。</p> <p>・動画は映像と音声から構成されていることを理解している。</p> <p>・コンピュータで音声を扱うための方法について、デジタル化などとも関連して理解している。</p> <p>・コンピュータで映像を扱うための方法について、フレームなどとも関連して理解している。</p> <p>・動画のデータ量の計算方法を理解している。</p> <p>・動画の企画・撮影・編集・配信に関する一連の流れを理解している。また、動画の編集に関する基本的な技術を身に付けている。</p>	○			
<p>第4章 インターネットの活用</p>						
<p>第1節 ウェブページの制作とデザイン</p> <p>1 ウェブページ制作の全体像</p> <p>2 ウェブページの企画</p> <p>3 ウェブページの設計</p> <p>4 ウェブページの制作と公開</p> <p>5 アクセス数を増加させるための工夫とアクセス解析</p>	<p>・ウェブページを制作するための一連の作業内容を学習する。</p> <p>・アクセス数を増加させるための工夫について学習する。</p>	<p>・ウェブページを制作するための一連の手順を理解している。</p> <p>・閲覧者の立場に立ったウェブページの制作について、ユーザビリティ、アクセシビリティと関連させて理解している。</p> <p>・ウェブページの企画について、企画書の作成方法と関連させて理解している。</p> <p>・ウェブページの設計について、サイトマップ、ワイヤーフレーム、ビジュアルデザインと関連させて理解している。</p>	○			
<p>第2節 ウェブページの制作</p> <p>1 HTMLを利用したウェブページの制作</p> <p>2 CSSを利用したウェブページのレイアウトの調整</p> <p>3 ウェブサイトのアップロードに向けて</p> <p>4 JavaScript</p>	<p>・商品情報や企業情報を発信するためのウェブページを、HTML、CSS、JavaScriptを活用して制作するための知識や技術を身に付ける。</p>	<p>・HTML・CSS・JavaScriptとは何か、理解している。</p> <p>・HTMLを利用して、企業情報を発信するためのウェブページを制作するための技術を身に付けている。</p> <p>・CSSを利用して、ウェブページのレイアウトをするための技術を身に付けている。</p> <p>・JavaScriptを利用して、ウェブページに動的な表現を加えるための技術を身に付けている。</p>	○			
		<p>・どのようにHTML・CSS・JavaScriptを利用すれば、効果的なウェブページを制作することができるのかを考えようとしている。</p>	○			

